



Kathy Lien,  
Director of Currency Research

gftforex.com  
One World Financial Center, 200 Liberty Street  
22nd floor, New York, NY 10281

BY KATHY LIEN

今日のFXマーケット 02.22.12  
(2012年2月23日発行)

## FX: 何が動いているのか?

この24時間というものの、EUR/USDは動きを止めてしまった。欧州に対する関心が高かっただけに、ギリシャ問題に関する新たな進展の欠如で、投資家は様子見を決め込んだようだ。格付機関フィッチがギリシャ国債をCCCからCに格下げしたが、それがムーディーズの決定と実質同一であったため、市場に影響を与えるには至らなかった。ただしフィッチはギリシャがデフォルトする可能性に関して、「短期的に極めて高い」とした。同社の決定はユーログループの会合後に行われたものであり、第二次救済の合意後に格下げを断行したという事実は、同社が今回の妥協によるデフォルト回避に全く信頼を置いていないことを意味する。ギリシャ議会の財政委員会は既に債務交換法案を承認した模様であるが、正式発効には本会議での採決を待たねばならない。ギリシャが更に格下げされて一部債務不履行となれば、クレジット・デフォルト・スワップ(CDS)の決済が発生するか否かが大きな問題になる。当社はCDSの信用事由が市場にもたらす混乱の大きさから考え、債務不履行が一時的かつ技術的なものに過ぎないと投資家が認識することで、決済は回避されるものとする。第二次救済資金で3月の国債償還が問題なく実施されることは確実だからである。

EUR/USDは小動きに終始したが、他の通貨やコモディティには大きな動きが見られた。EUR/GBPは8週間に及ぶもち合い相場を抜け出し、年初来の高値を付けた。イングランド銀行の議事録によれば、金融政策委員会は資産購入の大幅増額を容認していた。実施の見送りは、単に市場に誤解を与えないためであった。一方USD/JPYは80円の大台を越えて上昇を続けている。今月に入ってUSD/JPYは毎日のように上昇し、さしたる反落場面も見られない。ここ数週間米ドル金利が着実に上昇したことも、ドル需要の増大につながった。これと対照的に日銀は流動性を増加させ、日本円に対する需要は枯渇した。しかしUSD/JPYの上昇が金利差拡大に基づくものである限り、トレーダーには十分な警戒が必要だろう。フェデラルファンド金利のフューチャーは向こう12カ月間に15ベーシスポイントの利上げを織り込んでいるが、これはFEDの意図と大きく乖離する。実際FRBは今後2年間利上げの意思のないことを明らかにしており、仮に政策変更が行われるとしても、これほど迅速な利上げはあり得ない。また来月は日本の年度末であり、日本企業の資金償還により、円はこれまで幾度となく3月に上昇している。今回も年度末要因がUSD/JPYの上昇を止めることもあり得よう。

動いているのは為替市場だけではない。金相場は急速に市場最高値に接近中だ。原油価格も今日こそ若干小緩んだものの、2月6日から10%の上昇である。イランの核開発問題は原油価格を大幅に押し上げ、残念なことに世界各国でガソリン価格が上昇を始めている。

EUR/USDのもち合い相場も長くは続かないだろう。今日発表されたユーロ圏PMIは景気の後退を表した。財政緊縮は経済成長を妨げる。残念なことにユーロ圏の至る所で緊縮財政が景気を蝕んでいる。1月の製造業とサービス業の数値は悪化したが、ドイツとフランスの両国で改善が見られたことからしても、域内の他の国における落ち込みの深刻さが伺える。ドイツでは明日IFO景況感指数が発表されるが、指数の悪化は取りも直さず企業信頼感の落ち込みリスクを意味する。

外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適合している投資商品とは言えません。本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのような必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからサービスの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録（関東財務局長（金商）第268号）および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。[www.gftforex.co.jp](http://www.gftforex.co.jp) ©2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複製・複製・転載を禁ず。GD08J.006.011212